

雪氷写真館 22



写真 1. 麓を走るフロント



写真 2. 高く舞い上がった雪煙

パミール高原の雪崩

高山では真夏といえども雪崩が起こることがある。この写真は、1998年7月のある日の午後に、中国とタジキスタンの国境にあるパミール高原で偶然に撮影されたものである。雪崩の発生した斜面の方位は東向きで、発生区で約6000m、堆積区で約4800mの標高がある。山頂付近には新雪に覆われた氷河が見える。中国新疆ウイグル自治区では、1970年7月に天山山脈を縦断する独山子一庫車の公路で発生した雪崩により、7名が死亡し、公路工期が1カ月以上遅れたという記録がある。

阿部 修 会員 (防災科学技術研究所 雪氷防災研究部門)
撮影: 姜 逢清 (Jian Fengqing)(中国科学院 新疆生態与地理研究所)